

# 「都市工塾」(東京大学本郷キャンパス工学部)-テーマ『都市と劇場』



## 兵庫県立芸術文化センター Hyogo Performing Arts Center

### ～世界に開かれ地域に愛される劇場～

## 1 コンセプト「日本一のお客様に支えられ、お客様とともに成長し続けるパブリックシアター」

[事業展開]

- ① 多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ② 芸術性豊かなものから親近感に富むものまで『幅広いニーズ』に応える演目
- ③ 舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

[パブリックシアター] (3つの要素)

- ① 芸術監督、劇場経営のプロ
- ② 芸術創造集団オーケストラ
- ③ 本拠地となる舞台芸術劇場…ソフト・ハード一体化

[施設構成] \* 地元企業 (支援) による「ネーミングライツ」導入 \* H20.10 月から導入 (H26.4 月から3期目)



KOBELCO 大ホール(2,001 席)  
オペラ・音楽・バレエなど



阪急 中ホール(800 席)  
演劇・ミュージカル・古典芸能など



神戸女学院 小ホール(417 席)  
リサイタル・室内楽・ジャズなど

## 2 開館 (H17.10) から 11 シーズンの成果 \* 劇場への期待 (評価) は年間の活動総体 (公演単体ではなく) \* 幅広い県民 (ファン) の支持共感・賑わいを数値化

(基準 146) \* 数値目標 (年間): 300 本・30 万人・300 日・30 億

- 年間イベント数 約 800 (H27 主催等 402・貸館 327、普及イベント 112 計 841) \* “日本”の証シデータ
- ・主催公演入場率 約 90%、主催公演満足度 95%超 →ソフトへの支持・信頼 \* 多彩で豊富なメニュー (選べる楽しみ)

- 年間 公演入場者数 約 50 万人 (来館者総数約 80 万人) \* われらが劇場 (H27 主催 346,487 人・貸館 153,708 人、普及イベント・ホール出演者・その他施設利用者等 284,626 人 計 784,821 人)
- ・開館 10 年のハイスピードで公演入場者数 500 万人を達成 (H27.9.11) 高い県民比率 (約 70%)、熱心な支持者層の形成 (10 回以上の来場率 50%強) と新しいファンの発掘 (初めて来場 10%超)

(基準 203 日)

- 年間ホール稼働日数 327 日 (H27 施設稼働率 平均 98.1%) 「安全安心」な施設運営→ハードへの信頼 (施設利用満足度 99%) (\*ホスピタリティ) \* 主催公演中心。施設利用は兵庫・関西のアーティスト・バレエ団・学校・合唱団・大学オケ、吹奏楽など多彩



H27 開館 10 周年記念演奏会

- 年間 経営規模 30 億円 (基準 24.7 億) (H28 予算 事業費 14.4 億、楽団費 7.4 億、管理運営費 8.9 億 計 30.7 億)
- ・県「長期収支フレーム」により安定・継続的運営 \* 専門家活躍の基盤 (しくみ) \* 説明責任 芸文センター事業基金等により県予算 15.3 億 (H28 運営収入 15.4 億) \* H28 文化庁助成 劇場・音楽堂等活性化事業等 68 百万円

- 運営によってもたらされる大きな「経済波及効果 (生産誘発効果)」(日本総研調査から) \* 3 回目 (H27)
- ・年間効果額 県内 71 億円 (全国 149 億円) [H22 調査 県内 71 億円 (全国 145 億円)] \* 県投資効果 10 倍データ 開館後 10 年間の運営による累計 (推計) 県内 687 億円 (全国 1,423 億円)

(参考) 「仮想評価法」による社会的便益(政策研究大学院大学教授 垣内恵美子氏による県民アンケート調査から)

- ・約 58 億円 (年齢・所得修正値) [理由: 劇場の利用価値だけでなく、劇場の存在そのものや地域の魅力、後世に残す価値のような非利用価値が大きく評価されている]

- 芸文センター会員登録数 6 万人 (H28.2 月現在 55,634 人) “芸文センター市民”
- ・登録無料の会員制度 (特典: 先行予約・会員ニュースの提供)

### 3 事業展開の特色

- (1) 「佐渡裕」芸術監督企画によるプロデュースオペラ \*特色発揮(専属楽団・劇場があればこそ)  
兵庫発のオペラプロジェクトとして、新しいオペラファン層を開拓し、全国的にも異例のロングラン公演を定着 \*同一会場同一演目6公演以上(2,000人の大ホール)(\*日本でここだけデータ)

計 12 作品 123 公演 入場者 224,312 人(リバイバル公演含む)

H17 ハンゼルとグレーテル	H18 蝶々夫人
H19 魔 笛	H20 メリー・ウィドウ (12公演)
H21 カルメン	H22 キャンディード
H23 こうもり	H24 トスカ
H25 セビリヤの理髪師 (西宮8公演+県内4公演)	
H26 コジ・ファン・トゥッテ	H27 椿姫
H28 夏の夜の夢 (11,856人) 6公演	



H28 夏の夜の夢



H27 椿姫

H25「セビリヤの理髪師」初の県内4公演を実施(ネーミングライツ財源) \*全て完売(H292回目の県内公演計画中)  
H26ハイライト・コンサート(ええとこどりシリーズ)を県内展開: 3会場 H27 4会場 H28 4会場

#### ① オペラファンの裾野の拡大

- ・オペラ鑑賞の初心者から楽しめる親しみやすい演目選び
- ・低価格に抑えた入場料(戦略的な広報宣伝活動で、多回数の公演を実現し収入を確保)

#### ② 世界に通じるハイレベルなクオリティ(国内外第一級のクリエイティブスタッフと出演陣)

### (2) 兵庫芸術文化センター管弦楽団(愛称 PACオケ) \*特色ある創造集団

国内外からオーディションで結集した若手演奏家(コアメンバー48人 多国籍35歳以下3年更新)による、プロオーケストラとしては例のないアカデミー機能を有する「フレッシュでインターナショナルなオーケストラ」。多くのファンに支えられながらファンとともに育っている。\*進取・開放的な気風に支えられ

#### ① 定期演奏会 \*定期会員券(9回通し券)は4月発売

- ・古典名曲から現代音楽まで幅広いプログラム
- ・1シーズン9回 \*同一会場 同一プログラム各3公演 (\*国内プロオケ唯一データ)
- ・定期会員数: 4,987人、楽団事業平均公演入場率90%超

#### ② アカデミー機能 \*若いアーティストの挑戦・成長を地元の幅広いファンが応援

国内外の楽団に羽ばたく多くのコアメンバー(関西フィルコンマス、東響首席、ミュンハン・フィル首席、ノルウェー国立歌劇場管 ほか)

#### ③ わくわくオーケストラ教室 \*将来世代への投資(専属楽団・劇場効果)

県内の中学1年生(全員)に本格的ホール・オーケストラ演奏に親しむ(体験学習)機会を提供  
[年間40公演、H27:384校 48,057人(保護者等を含む52,398人)]



第75回定期演奏会 マーラー「復活」



わくわくオーケストラ教室

- \*スーパーキッズオーケストラ(SKI)の活動: 佐渡芸術監督オーディションによる小学~高校生(弦楽合奏)  
・8月合宿・アウトリーチ→東北被災地訪問など→演奏会(大ホール)など多様な演奏活動展開

### (3) 幅広いニーズに応える上演、質の高い様々な舞台芸術の提供

#### ① 多彩なジャンルで豊富な公演メニューを提供

(\*500~60,000)

- ・メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ポリショイ・バレエ、ロイヤルバレエなど世界トップ級の公演
- ・「特色あるシリーズ企画(世界音楽図鑑、古楽の愉しみ)」や「低料金で良質な公演(プロムナードコンサート、ワンコインコンサート(平日昼間1h・大ホール))\*H25 鯛中卓也(ピアノ)明石市出身、H27 斉戸英美子(ヴァイオリン)西宮市出身、日本舞踊など“はじめて”シリーズ(中ホール)」など多彩な展開
- ・地元人材・題材活用による古典芸能シリーズ



H18 メトロポリタン歌劇場「椿姫」



- ② 日本オペラプロジェクト \*4 作目 H24「夕鶴」、H25「ちゃんちき」、H26「藤戸」、H27「天守物語」
- ③ 兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト、世界から将来有望な人材を起用・活用
  - ・ドリーム・コンチェルト (H25 木村優一(和太鼓)神戸市出身、西本淳(ウクレレ)神戸市出身、菊本和昭(トロンボーン)西宮市出身)
- ④ 舞台芸術団体フェスティバル(県域団体)
- ⑤ 「県民創作公演」シリーズとして県民に創造活動の檣舞台を提供し、地域の文化力向上を支援
  - ・オペラ、ミュージカル、農村歌舞伎、人形浄瑠璃

#### 4 地域に愛され、親しまれる劇場の実現(普及イベント、地域連携・にぎわいづくり)

- ① バックステージツアー、公開リハーサル継続展開など舞台芸術に触れる多様な機会の提供
- ② 地元商店街等により構成された「西北活性化協議会」など地域と連携したイベントの展開



H27プロデュースオペラ「椿姫」前夜祭  
\*地域の『夏祭り』



H23 東日本大震災復興祈念活動(継続取組)



H28SKO復興祈念演奏活動  
「こころのびんごう」inくまもと



クリスマスイルミネーション  
(西北一帯が暖かい光)



劇場のバースデーはみんなで祝い



小学校音楽教室

- ③ ホスピタリティ発揮 地元タクシー運転手・駅員のみなさんと共に \*パートナー

#### [参考：H27 開館10周年＝阪神・淡路大震災20年]

- 1月 震災20年追悼演奏 楽団定期演奏会 マラー交響曲第2番「復活」(パブリックビューイング)
- 10月 芸文センター「オープンデー」 12月 10周年記念演奏会 PACパートナーヴェン交響曲「第九」(関西ツアー)

#### 5 「大規模修繕工事」(H28実施)ー新たなステージ(次の10年)へ

- ・開館から10年経過、高い稼働率(①施設利用②公演数③入場者)で推移
- ・引き続き、設備・施設の安全・安心、快適性を確保するため、音響・照明機器、舞台機構の更新など、特に早期修繕が必要な箇所や時代のニーズに合わせた機能向上のため修繕・改修

[今後の課題] ①安全安心、安定継続ソフトの展開、②安定的財源と優れた人材の確保

※ **“成功のトライアングル”** 芸術家・専門家ー行政・劇場ー県民・地域のコラボレーション。稀な成功例  
要因：首長(知事の先頭に立つ姿勢)と地域定着(芸術監督の普及活動)と評されている

[運営体制] 館長：井戸県知事 芸術監督：佐渡裕(指揮者)  
事務局：副館長 ゼネラルマネージャー ほか



#### [環境へ配慮した施設]

- ① 太陽光発電(屋上と建物西側側面に太陽光発電パネルを設置、建物で消費する電力エネルギーの節約に貢献)
- ② 屋上緑化(ヒートアイランド対策、来場者への癒やし空間を演出)
- ③ 雨水利用(雨水を地下の貯留槽に貯留し、濾過処理のうえ散水用水やトイレ洗浄水に有効利用)

# 兵庫県立芸術文化センター構想の推進・立地

## ■在来線ご利用の方

- 阪急神戸線「西宮北口」より南へ徒歩2分
- JR「西宮」より北東へ徒歩15分  
(西宮駅北側ターミナル1番のりばから、阪急バスにて「西宮北口駅」下車)

## ■新幹線ご利用の方

- 新大阪から  
JR新大阪～大阪…阪急梅田～西宮北口
- 新神戸から  
JR新神戸～三ノ宮…阪急三宮～西宮北口



### 〔施設〕

- ・建築面積：1,053,053 m<sup>2</sup>
- ・延床面積：3,314,492 m<sup>2</sup>

## <芸術文化センター開館(H17.10)>

- ・S63 第3回国民文化祭開催→H2 事業基金(創設)によるソフト先行事業開始(芸術監督 山崎正和) \*おにぎりと文化
- ・H12(震災から5年) 県民アンケート：施設整備・楽団新設(運営経費)に圧倒的同意→着工
- ・H14 佐渡芸術監督就任 \*劇場を街のみんなの広場に(裾野拡大)
- ・阪神・淡路大震災(H7.1.17)から10年、復興のシンボルとして被災地に県民の支持と共感に支えられ、県民と共に立ち上がった劇場＝<sup>①</sup>人々の元気、<sup>②</sup>街の賑いの素

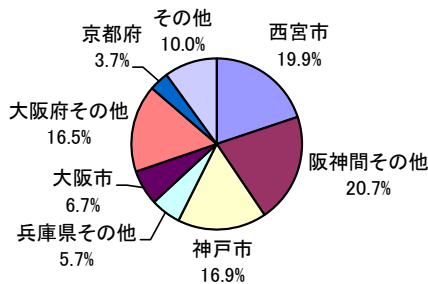
## <芸術文化センターのある街『にしきた』>

- ・センター開館直後、阪急西宮北口駅(最寄駅)乗降客が、月3万人以上増(→地域のポテンシャル向上)
- ・「地域振興の一翼」：<sup>①</sup>地元商店街がにぎわい(集客アップ)  
<sup>②</sup>新たにスポーツ施設や良質な住宅群が建ち、<sup>③</sup>劇場関連ショップや<sup>④</sup>「阪急西宮ガーデンズ」(大型ショッピングセンター)が新規オープン、<sup>⑤</sup>甲南大学西宮キャンパス開設など(地域(県民)協働のリーディングプロジェクト) \*相乗効果
- ⇒関西住みたい街ランキングNo.1(リクルート・不動産情報会社調査)

- ・大都市(神戸と大阪)の中間に位置する「西宮市」に立地
- ・西宮市 人口:約 48万人・阪神地域(7市1町) 人口:約 176万人  
( \* 県庁所在地や政令指定都市ではない立地条件)

# 公演入場者プロフィール (H26) \* 特色

## ●居住地(会員登録データから)



### \*観客構成は県民中心

県内: 63%、県外: 37%

阪神地域: 40.6%

(「西宮市」19.9%、「阪神間(6市1町)」20.7%)

神戸市: 16.9%

## ●芸術監督プロデュースオペラ鑑賞頻度(アンケート調査から)

### \*「今回が初めて」(オペラ経験)

H18年「蝶々夫人」34.4%

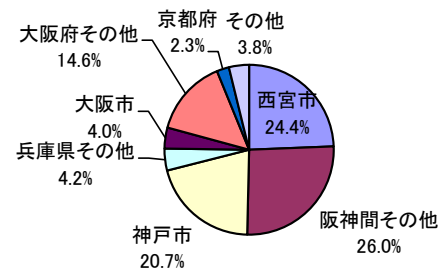
(0~1回を含めると51.2%)

→ H26年「コジ・ファン・トゥッテ」11.7%

オペラファンの裾野が広がり、定着しつつある

ワンコインコンサート(大ホール・兵庫・関西若手アーティスト)

## (楽団・定期会員(2014-15シーズン)データから)

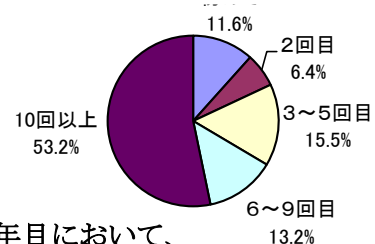


### \*県内: 75.2%、県外: 24.8%

阪神地域: 50.4% (西宮市 24.4%、阪神間 26.0%)

神戸市: 20.7%

## ●センター来場回数(アンケート調査から)



### \*開館9年目において、

①ファンの定着(80%以上がリピーター)とともに、

②新たな舞台芸術ファンの発掘(初めて来場 11.6%)が続く

\*ここ(芸文センター)に来るのが楽しみ、元気になる